



学校教育目標「笑顔とあいがとうのあふれる五城の子ども」

熱い・暑い・厚い 海の学校



子どもたちの熱い思いが天に届き、またまた天気予報をひっくり返した五城小学校。好天のもと海の学校を楽しみました。天気の良いは暑さも呼び子どもたちは常に汗びっしょり。それでも元気いっぱいの子もたち。それは、海の学校の先生たちの手厚いご指導のおかげでした。

1学期の大きな行事の締めくくりにあつさわしい、大きな成果のあった1泊2日でした。

まずは腹ごしらえ。外で食べるお弁当はやっぱりおいしい。しっかり食べて、いっぱい活動するぞ！

いかだはみんなで協力しないと進まないことがわかりました。みんなでバランスをとらないと、すぐ落ちるけど楽しかったです。岸に近いと波で岸の方に行ってしまうから、なるべく沖の方がいいこともわかりました。



「かい」で水をかくのは重かったけど、みんなで息を合わせて協力すると重く感じなくなりました。思っていたよりもよく進んでいたのうれしかった。本当の「疲れた」「暑い」がわかりました。みんなで協力することの大切さをこれから他のときにも生かそうと思いました。



今年から海の学校は御津南小学校と連合で行くことになりました。久しぶりに会う友だちや2日の間に仲良くなった友だち。食事も2校が混ぜて食べている席もありました。



海岸で花火をしたことがなかったので、楽しかったです。はんごとにかくさん花火があって長い時間することができました。最後に打ち上げ花火があって、知らなかったのでびっくりしました。大きな音をたてて、きれいに広がったのにおどろきました。

海ほたるも初めて見ることができました。海ほたるも、とてもきれいでした。





宿泊部屋も男女それぞれに2校で1部屋です。女子はたたみ部屋に19人の中に五城の3人。男子はたたみに御津南小6人、ベッドに五城の7人の合計13人。合宿という言葉がぴったりあてはまる感じでした。



地引きあみでは、たくさんの学校の人が男女も関係なく協力することを学びました。ミズクラゲがいっぱいかかっている、とてもプニプニしていて気持ちよかったです。とれた魚は2種類。ポラとマダイでした。たくさんの人で2回あみをひいばっても、たった5ひきしかとれませんでした。

海の学校の先生がとれた魚や他の魚のことを教えてくれました。魚がどんどんとれなくなっているのだそうです。海洋プラスチックなど海の問題もよくわかりました。



海でのいろいろな体験はどれも初めてで楽しかったです。一番たくさん学べたことはカッター研修です。みんなと息を合わせないと進まないこと、できなくてもあきらめないこと、疲れても最後までがんばること、話を体全体で聞くこと、聞いたことを行動することを学びました。

他にも大人数でごはんを食べることができたこともうれしかったです。

みんなと息を合わせて協力しないとできないことがあることも知ったし、五城と御津南だけでできないことが、他の学校の知らない人と協力することでできることもあることがわかりました。

カッターでは船べりの場所をしました。船べりではレーザーの真ん中にあるきぎを上に向けないといけないから、前の人を見たりレーザーを見たりしないとイケませんでした。だから集中力を高めておかないといけない、と考えてがんばりました。

手厚い | コマ

カッター研修の乗船前、担任は後ろで指導員の先生と打ち合わせ中です。そして、子どもたちの前でお話をしてくださっているのは鷺見アドバイザー。

ずっと渋川青年の家で指導員をされていて、ご退職後もアドバイザーとして指導を続けておられます。何十年も変わらぬ笑顔で研修生を迎えてくださり、我々教職員にとっては渋川の神のような存在です。子どもたちはそんなことはもちろん知りませんが、鷺見先生に話しかけてもらえた子どもたちは本当に幸運でした。

